

# 第33回

# うつのみやこども賞だより

平成28年度 2回

市内5・6年生の選定委員さんたちが、月に4冊の本を読んで、年間で一番人気の高かった本に「うつのみやこども賞」を贈っています。

## 《今月選ばれた本》

### 『旅のお供はしゃれこうべ』

泉田もと／著（岩崎書店）



## ～読んだ本の感想より～

●奉公人の市蔵にうらぎられて、絶望のふちにきた惣一郎が、おしゃべりなしゃれこうべ助佐に出会って立ち直っていったよかったです。こんなにおしゃべりでおもしろいしゃれこうべだったら、少し会ってみたいと思いました。

●しゃれこうべとの旅がおもしろかった。さいごの結末はかなしかったけれど、ぼうけんしているようで読者も楽しくなる。

●最初、しゃれこうべにびっくりしたけれど、しゃれこうべの話がおもしろかったです。しゃれこうべが成

仏できてよかったけれど、少し悲しかったです。

●いなり山の十六夜や、しゃれこうべの助佐とので会いが、惣一郎を変えたところがよかったです。

●惣一郎としゃれこうべの会話がおもしろかったです。

## 『ガラスの壁のむこうがわ』 せいのおつこ／著（国土社）

●由香が、空に「ふれる」ために「言葉」を使うところが好きです。ふつつ、「ふれる」というと「手でふれる」だと思いがちだけど、「言葉でふれる」こともできるんだなと思いました。

●中原さんと篠沢さんと仲良くおしゃべりができて、由香はけておかしな子じゃないと、由香自身きづけてよかったなと思いました。

●友達と仲良くできなくて、困っているのが現実的でよく分かりました。

●「絵」や「言葉」でさわるという表現がおもしろい。

## 『ケンガイにっ！』 高森美由紀／著（フレーベル館）

●最初バラバラの家族だった食卓が、おばあちゃんの家に行ってから、俊もインターネットをやめ、どんな事にもちょう戦するようになり良かったです。

●おばあちゃんのいえにいくと、俊たちの住まいはすごくべんりだとわかったと俊が思って、心にしみた。

●みんなの家でもありそうな、ゲームの話題がおもしろかったです。おばあちゃんの手料理もおいしそうでした。

●田舎っていいなあと思いました。

●俊がおばあちゃんに会い、そこでゆっくりすごし、成長していく所がおもしろかった。

## 『シヨクパンのワルツ』 ながすみつき／著（フレーベル館）

●イノシシとの戦いのところからは、こうぶんしてすごい勢いで読み進めてしまうほどドキドキした。シヨクパンが死んでしまって、とても悲しかったけど、シヨクパンは実は闘犬で、主人を守ったのだと思うと、動物ってすごいなと感心し、感動した。

●いじめなど、身近なことも交じっていて、日々の生活について考えさせられた。シヨクパンの勇氣に感動した。

●最後まで、ときどきしました。最後のおはかを作ってあげる時は感どうしました。

●シヨクパンのかわいらしさと、悲しさと勇氣をもっていることを分かりやすく書いてあっておもしろかった。

●命がけでイノシシと戦っていたところに感動した。

●最後には死んでしまったのが悲しかったです。